

ブラジル初の邦字紙を復刻！

現在その存在を確認できる1918年刊行分を収録。
当時のブラジル移民が入手していた情報を知ることができる第一級資料である。

発行 南米社（星名謙一郎）

復刻版

1918年

週刊南米

全3巻

B5判／上製／1、056頁

● 揃定価 本体66、000円＋税 ISBN978-4-8350-8057-4

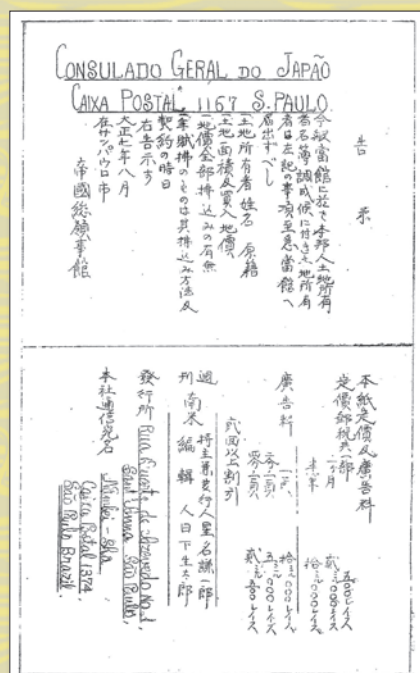
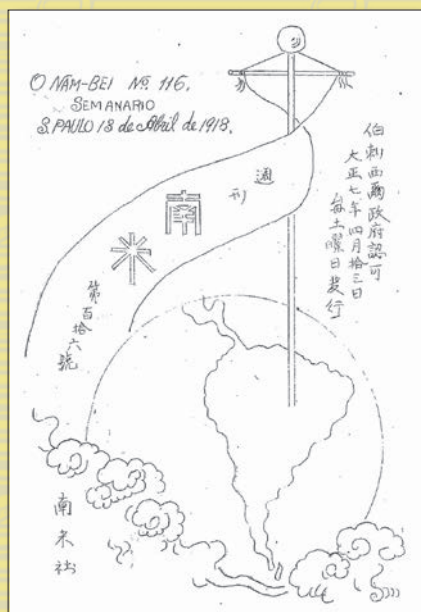
● 収録号数 第103、108、110、113、116、134、148、150号

● 協 力 飯田耕二郎

● 推 薦 吉田 亮・根川幸男

● 原本提供 ブラジル日本移民史料館

● 刊 行 2017年6月



不二出版

ブラジル邦字紙の嚆矢『週刊南米』の復刻を祝す

吉田 亮（同志社大学社会学部教授）

南米の日本人移民・日系人史研究に大いに貢献することができるとする史料が復刻されることになった。今回復刻される『週刊南米』は、ブラジルで創刊された邦字紙の嚆矢とされるものである。原本はブラジル日本移民史料館に所蔵のものである。B5の謄写版で、ページ数は一六〇四六頁、毎週土曜日に南米社が発行していた。持主兼発行人は星名謙一郎（一八六六～一九二六）で、南米社が発行所である。

星名は愛媛県出身で、ハワイ、米国本土のテキサスを経て一時帰国し、最終的に一九〇九年にブラジルへ向け出港、転移民し農業労働に従事した。そして、一九一六年一月に『週刊南米』を発行し、さらに梅弁・ブレジョン殖民地開拓事業を牽引した。まさに日本人移民のバイオニアといえよう。尚、星名については飯田耕二郎著『移民の魁傑・星名謙一郎の生涯——ハワイ・テキサス・ブラジル』（不二出版、近刊）に詳しい。

今回復刻されるのは一〇三号（一九一八年一月二二日）から一五〇号（同年二月一四日）までである。当地の日本人移民史においては、貧しい労働移民が苛酷な農園労働から自営農業へと移行し、殖民地を各地に形成する時期である。当該時期の本紙の記事は社説・論説、雑報、最近電報、日本近信、投書、文芸、広告等で構成されている。一読すると、現地及び日本を含む世界の動向を見据えながら農園を逃亡する貧しい農業労働者に同情し、彼らの現地への定着、自営農業者化を奨励する記事が目立つ。

今後、同時期の他史料と合わせて当該時期の日本人移民史研究がさらに進むことを期待する。

笠戸丸から一〇年足らず——きわめて史料の乏しい

一九一〇年代末期ブラジル日系人の活躍伝える

根川幸男（国際日本文化研究センター・機関研究員）

『週刊南米』は、日本人海外移民史上の「怪傑」星名謙一郎によって発行されたブラジル最初の邦字紙である。

今回の復刊は現存の一九一八年発行のものであるが、第一回移民船笠戸丸から一〇年足らず。きわめて史料の乏しい一九一〇年代末期をカバーし、後発の『日伯新聞』や『伯刺西爾時報』などと合わせ読むことによって、草創期ブラジル日系人の活躍について新たな面を見ることができだろう。

内容は多彩である。農牧業に関する記事が多いが、時節柄、第一次大戦の経過など世界の動向を報じる記事も多く、ハワイ、アメリカ本土でキャリアを積んだ星名の世界観や視野の広さを示している。また、「移民の耕地逃亡」「日本人の大泥棒」（一〇三号、一九一八年一月）という、日本人移民のマイナスイメージを伝える記事もあり、「日本人は保証付き」と喧伝される、ブラジルのモデル・マイノリティ神話に逆行するような事実が生々しく伝えられている（ただし後者は一〇六号に訂正記事掲載）。また、文芸欄が見え、吉井勇の歌が散りばめられた様子は、移民が浪漫主義と無縁でなかったことを示す。このように記事のタイトルを追っているだけでも、移民史研究者としては興味が尽きないのである。

私はかつて、サンパウロのブラジル日本移民史料館に何度も足を運び、百年前（？）のチリや埃を吸い鼻水を垂らしながら、本紙のページをめくったものだ。この度の復刻により、容易に手に入らない貴重な史料をだれもが簡便に手に取れるようになった。これを機に、移民史研究がさらに進展することを強く願うのである。

日本力行会Ⅱ発行
大正2年〜昭和20年刊行分収録
りっこう

力行世界 全39巻・別冊1

体裁——A5判・B5判・B4判／上製／総20、078頁
別冊——解説（和田敦彦）・総目次・索引（分売価格 本体3、000円＋税）
推薦——飯田耕二郎／根川幸男／日比嘉高／平井廣一
価格——本体762、000円＋税

（第1回配本Ⅱ本体75、000円＋税、第2〜7回配本Ⅱ各本体95、000円＋税、第8回配本Ⅱ本体117、000円＋税）

本誌は、一九一三年より現在も刊行中の日本力行会機関誌である。日本力行会は一八九七年、キリスト教徒であった島貫兵太夫が苦学生救済・海外発展の必要性を唱えるために設立された。『力行世界』は、世界各地に在住する会員の声、移民を希望している人との問答、渡航の方法等、移民に関する記事を豊富に提供する「移民情報の宝庫」であるが、揃いで所蔵している研究機関は皆無であり、容易に入手できなかった。今回の復刻により、移民史をはじめキリスト教史、教育史、広く近現代史研究に供するものである。

戦前期ブラジル移民日本語読本 全1巻

体裁——A4判（四面付方式）／上製／函入／302頁
解題——根川幸男
推薦——森本豊富／エドワード・マック
価格——本体33、000円＋税

一九三六年から翌年にかけて刊行された、ブラジル初の日本語読本教科書である『日本語読本』（著作兼発行者 ブラジル日本人教育普及会）全八冊を四面付方式の一冊に合本、そしてカラーページをそのまま再現して復刻刊行する。

この『日本語読本』は素材の多くを当時の国定教科書から採っているが、中には「ブラジルの発見」や「オズワルド・クルーズ」など、ブラジルの偉人・歴史上の人物の伝記が収録されている。また、ブラジルの日系女生徒の作文、ポルトガル語教科書からの翻訳教材も見られ、「日本の教育」と「ブラジルの教育」の融和への志向性を垣間見ることができる。

かがやきこう

輝号「ブラジル」「勝ち組」広報誌 全1巻

収録——『輝号』創刊号（昭和24年3月）全頁・各号「目次」「編輯後記」
体裁——B5判／上製／函入／180頁
推薦——三田千代子
価格——本体19、000円＋税

第二次世界大戦後のブラジル日系社会では「勝ち組」、「負け組」というふたつの思想的な対立が顕著となった。「勝ち組」とは日本の敗戦を信じなかった日本人移民のことで「信念派」、「強硬派」と呼ばれ、一九四六年から四七年の時点ではブラジル日系人の八割が「勝ち組」だった。一方「負け組」の人たちは、「認識派」、「敗戦派」と呼ばれ、ポルトガル語の新聞が読めた日系社会のエリートが多かった。情報が乏しい中、日本の勝利を信じていた「勝ち組」、「信念派」の日本帰郷運動の心理に迫る復刻。

中西直樹編・解題

仏教海外開教史資料集成〈南米編〉 全3巻

体裁——B5判・A5判／上製／総1、526頁
推薦——大村英昭／坂口満宏
価格——本体60、000円＋税

本資料集成は、南米における膨大な仏教開教関係の記録であり、仏教教団の海外の現状と歴史を検討するための必要不可欠な資料集である。

〈収録資料抜粋〉 全一七点

『伯国仏教篤信功労者名鑑』ブラジル仏教徒協議会編、一九六〇年
『南米視察談』井上円了著、一九一二年
『うかつに行けない南米』松宮石丈著、一九二七年
『平野廿五周年史』平野植民地日本人会編、一九四一年
『南米開教三五年誌』真宗大谷派南米教団編、一九八七年

復刻版
週刊南米
全3巻

体裁Ⅱ B5判／上製／1、056頁

ISBN 978-4-8350-8057-4

収録号数
Ⅱ 第103
108、
110
113、
116、
134
148、
150号

協力 飯田耕二郎

推 薦 Ⅱ 吉 田 亮 ・ 根 川 幸 男

原本提供 Ⅱ ブラジル日本移民史料館

◎ 公使館の移轉

長年ペトロリス中に在りたる中國公使館に
此程首都リオデレイトネイロウに移轉するこ
ととなり目下其移運中ありと

◎ 郵船南米是航

郵船公社には事業に移行搭客の爲の時々
南米臨時船航行し居るなりが爾來大抵高
南合社に於て半回りの定期航路を開始するに
至り且つ南米の將來益を有望ならんを豫
測しは高南合社對抗の戰役活躍の準備
備として愈々擴張博多、横濱の六千噸級郵
三隻を以て二箇月の南米定期航行船とし
ことに決定し其第一船として四月下旬若狹な
我配船せざるが如く港地は南阿にありては
タイパン、グレートマン、南米にありては
ジャバノ、サレー、ブラスアイズを三隻なら
しむる南米と日本との交通に一進歩を成れる
は喜ぶ可し。

◎ 梅嶺殖民地の現況

先年日本社主に依つて發表せられたる「梅
嶺殖民地」は去年八月より入殖の手に依つて同
地方の新記録は作られたり、同地方は海抜六
百六十メートルに位置する、故に第三地帯（サ
ンドランド）に属し、地方は珈琲に對して四半世紀
（1824-30）に属し、地方は珈琲に對して四半世紀
に、他一般地方の二十五半勢に比し、南克つ十五
年、栽培に傳へたるものなる、か客地に珈琲、棉花
米、豆類、玉蜀黍、其他諸種の農作物に傳へら
れる、自今、恩敏に入殖し、初めより、
先年八月より入殖者は、フエゴ、貝他作物の、裁
培に準じ入殖前にありたる、主耕畑、同様に、小畑
商に種蒔きし、なか、か、る、無限の、天、肥、料
に富める、今地方の、作物、成長期に達し、つ
て、この、如きは、枝、枝、葉、と、黄、が、混、合、し、定、成
陸、み、込、か、所、な、き、並、て、は、穀、食、茂、し、収、獲、と、豫、想、に、足、
り、た、る、ぐ、米、作、に、社、は、其、地、力、の、優、秀、な、る、成、
長、を、養、育、し、去、年、九、月、種、蒔、き、の、同、下、六、七、
成長、し、施、入、る、勢、成、り、し、餘、り、未、だ、と、る、收、
穫、期、に、當、金、の、成、成、た、へ、つ、玉、蜀、黍、に、準、り、て、は、
適、材、成、適、所、に、得、た、る、の、感、ある、並、て、に、其、養、育、

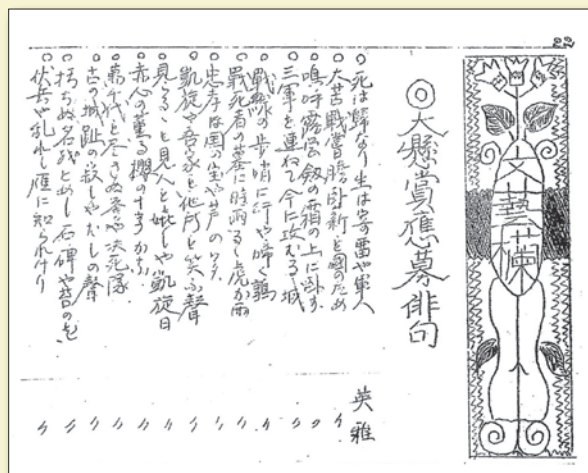
関連図書

飯田耕一郎 著

移民の魁傑・星名謙一郎の生涯

体裁——A5判／並製／320頁
価格——本体3,800円＋税
刊行——2017年8月

星名謙一郎（一八六六—一九二六年）は、日本人移民の草創期に、ハワイ・テキサス・ブラジルという三つの地域をまたいで先駆的な役割を果たした。当時彼ほど行動範囲の広い日本人はいなかったが、現在よく知られているとは言えない。星名が発行したブラジル初の邦字紙『週刊南米』の総目次や、彼に関する雑誌記事、地図や写真も多数収録した、初の評伝である。



表示価格は、全て税別

不二出版

〒一三一〇〇三三
東京都文京区向丘一―一
TEL 〇三―三八二―四四三三
FAX 〇三―三八二―四四六四
振替 〇〇一六〇―二―九四〇八四